

【令和2年3月刊行】 第1巻

目次案 【通史編 原始】

部分監修者：高山優

目次 ※項は変更あり		内容	執筆者	
平和都市宣言			—	
口絵			—	
刊行のごあいさつ			区長	
刊行にあたって			編さん委員長	
凡例			—	
目次			—	
序 原始の港区域			高山優	
章扉				
第1章 港区の 考古学 研究史	第1節 近代考古学史の人々と港区	第1項 坪井正五郎と鳥居龍蔵	日本(区内)の近代人類学・民俗学・考古学の創成期を牽引した2名の研究者について、港区との関係を中心に解説	岡崎完樹
		第2項 元棚倉藩主・阿部正功の事績	阿部正功と彼が区内で行った調査について	高山優
	第2節 大学と東京都教育委員会の調査	第1項 大正から昭和戦前期の考古学調査	谷川(大場)磐雄・鳥居龍蔵・江坂輝彌等による調査を中心に	岡崎完樹
		第2項 形質人類学者と発掘調査	工事中の人骨不時発見や改葬に伴う形質人類学者の調査について	高山優
		第3項 明治大学と慶應義塾の調査		高山優
		コラム 慶應義塾大学考古学研究室の人々	戦前・戦後の文化財保護を支えた人物と講義・研究について	渡辺丈彦
	第3節 行政調査の時代	第1項 伊皿子貝塚遺跡の発掘調査 - 区内最初の本格的な行政調査	区主導の初めての本格的な行政調査の意義を中心に	岡崎完樹
		第2項 近世遺跡調査の始まりと展開	行政調査として発掘された近世遺跡について	高山優
		第3項 行政調査の展望と課題	行政調査の現在と今後について	高山優
		コラム 行政調査を牽引した人々	行政調査をリードしてきた二人の研究者について	高山優
章扉				
第2章 旧石器 時代	第1節 旧石器時代の自然環境	第1項 気候と地形の変化	最終氷期寒冷気その後の気温上昇と関東地方の海岸線形成について	渡辺丈彦
		第2項 段丘面の形成	現在の武蔵野台地の原型の形成について	渡辺丈彦
		第3項 動植物相の変化	気候や環境に適応し変化した植物相や動物相について	渡辺丈彦
	第2節 旧石器時代の暮らし	第1項 旧石器時代前半期の石器文化	日本列島への人類到達時期と「石刃技法」について	渡辺丈彦
		第2項 旧石器時代後半期の石器文化	細石刃石器文化について	渡辺丈彦
		第3項 遊動的狩猟採集生活の姿	石器以外の遺物の発見から分かる狩猟対象等について	渡辺丈彦
	第3節 港区の旧石器時代遺跡	第1項 旧石器時代前半期の遺跡	萩藩毛利家屋敷跡遺跡について	渡辺丈彦
		第2項 旧石器時代後半期の遺跡	旧白金御料地内武家屋敷跡について	渡辺丈彦
		コラム 広域テフラ火山灰	広域テフラ(火山から噴出した灰を含む総称)の概要について	渡辺丈彦
		コラム C14炭素年代測定法	炭素の比率と原理を利用した年代測定方法について	渡辺丈彦

章扉				
第3章 縄文時代	第1節 縄文時代の自然環境	第1項 気候と環境の変化	縄文時代における気候と環境の微視的な特徴について	高山優
		第2項 縄文海進と地形の変化	縄文時代における海岸線を中心とする地形の変化について	久保純子
	第2節 縄文時代のくらしと文化	第1項 早期の人々の活動	縄文時代早期の港区域の様子や人びとと環境のかかわりについて	斉藤進
		第2項 集落の発達	縄文時代前期の港区域の様子について	高山優
		第3項 貝塚がつけられた時代	縄文時代中・後期の港区域の様子について	高山優
		第4項 縄文時代の人びとの行方	縄文時代晩期の港区域の様子について	高山優
	第3節 港区の縄文時代遺跡	第1項 早期の遺跡	縄文時代（早期）の遺跡概要について	高山優
		第2項 前期の遺跡	縄文時代（前期）の遺跡概要について	高山優
		第3項 中期の遺跡	縄文時代（中期）の遺跡概要について	高山優
		第4項 後期の遺跡	縄文時代（後期）の遺跡概要について	高山優
第5項 晩期の遺跡		縄文時代（晩期）の遺跡概要について	高山優	
コラム 旧石器時代と縄文時代の境界		御子柴石器文化と時代の境界の一見解について	渡辺丈彦	
コラム 貝と鱗の成長線		伊皿子貝塚遺跡出土の装飾品の紹介 貝塚出土の貝・魚の鱗の分析から探る漁業の季節性について	高山優 高山優	
章扉				
第4章 弥生時代	第1節 弥生時代の自然環境	第1項	弥生時代の港区域の環境の特徴について	高山優
		第2項		高山優
		第3項		高山優
	第2節 弥生時代のくらしと社会	第1項 弥生文化到来の頃	弥生時代中期の港区域の様子について	高山優
		第2項 むらのくらしと社会	弥生時代のむらにおける生活について	高山優
		第3項 弥生時代の終焉と次代への胎動	古墳時代への移行期について	高山優
	第3節 港区の弥生時代遺跡	第1項 中期の遺跡	弥生時代（中期）の遺跡概要について	高山優
		第2項 後期の遺跡	弥生時代（後期）の遺跡概要について	高山優
		コラム プラントオパール	植物珪酸体をもつイネのプラント・オパールと稲作について	渡辺丈彦
コラム 方形周溝墓		方形に溝をめぐらして墓域とし、その域内に設けた堅穴に埋葬した方形周溝墓について	高山優	

目次 ※項は変更あり		内容	執筆者
序 古代の港区域			漆原徹
章扉			
第1章 古墳時代	第1節 律令制以前の港区域	第1項 第2項 第3項	古墳時代における港区域の概要について 小口雅史 小口雅史 小口雅史
	第2節 考古学からみた古墳時代の港区域	第1項 第2項 第3項	考古学調査から明らかになる港区域の古墳時代について 大西雅也
	第3節 丸山古墳群と円墳群	第1項 丸山古墳 第2項 丸山古墳群	芝丸山古墳ほか、港区域に存在する円墳について 大西雅也
	第4節 亀塚	第1項 第2項 第3項	大西雅也
	第5節 古墳時代のむらとくらし	第1項 第2項 第3項	古墳時代の人々の生活について 大西雅也
章扉			
第2章 律令時代	第1節 考古学からみる古代の港区域	第1項 第2項 第3項 コラム 伊皿子貝塚遺跡で発見されたウシの骨	考古学的知見から明らかになる古代の港区域について 大西雅也 発見当初から弥生時代とされてきたウシの骨が理化学的分析結果により古代に属することが判明し、その経緯や出土の背景について紹介 大西雅也（図表）・高山優（本文）
	第2節 武蔵国の設置	第1項 第2項 第3項	古代の国の設置について 小口雅史
	第3節 豊島郡と荏原郡	第1項 第2項 第3項	古代の郡の設置について 小口雅史
	第4節 式内葦田神社	第1項 第2項	延喜式内社であり、現在の御田八幡神社である葦田神社について 小口雅史
章扉			
第3章 桜田・御田郷と飯倉御厨	第1節 桜田郷	第1項 第2項 第3項	(調整中) 小口雅史
	第2節 御田郷	第1項 第2項 第3項	(調整中) 小口雅史
	第3節 飯倉御厨	第1項 第2項 第3項	(調整中) 小口雅史

章扉				
第4章 古代の 景観	第1節 『万葉集』にみる古代の武蔵国	第1項	『万葉集』におさめられた武蔵国にまつわる歌について	小口雅史
		第2項		
		第3項		
第2節 『延喜式』にみる武蔵国の物産	第1項	『延喜式』に記された武蔵国の物産に関する条文について	小口雅史	
	第2項			
	第3項			
第3節 『更科日記』の竹芝物語	第1項	『更科日記』のなかの「竹芝寺」の物語について	小口雅史	
	第2項			
	第3項			
章扉				
第5章 古代末期	第1節 平将門の乱	第1項 南関東の武士	(調整中)	小口雅史
		第2項		
第2節 『今昔物語』にみえる武蔵国と港区	第1項	『今昔物語』のなかの武蔵国・港区域に関する説話について	小口雅史	
	第2項			
	第3項			

目次 ※項は変更あり		内容		執筆者
中世編 序				漆原徹
章扉				
序説				
第1章 鎌倉時代	第1節 武蔵七 党と江戸氏	第1項 南関東の武士団について 第2項 第3項	鎌倉幕府と江戸氏などについて	漆原徹
	第2節 武蔵国 の守護と鎌倉府	第1項 第2項 第3項	飯倉御厨など港区の荘園について	漆原徹
章扉				
第2章 室町時代	第1節 南北朝 時代の東国と武蔵	第1項 第2項 第3項	初期の関東経略などについて	漆原徹
	第2節 関東の 戦国時代		両上杉氏・後北条氏などについて	漆原徹
	第3節 小田原 北条氏所領役帳			漆原徹
	第4節 港区の 城館 コラム 赤坂鐔	第1項	白金長者の遺構など、港区域に残る遺構を紹介。	漆原徹 漆原徹
章扉				
第3章 中世寺院	第1節 東国の 真宗と阿佐布門徒	第1項 東国門徒の形成	東国における浄土門徒の形成過程について	永村眞
		第2項 阿佐布門徒とその展開 第3項 本願寺と善福寺 コラム 善福寺関連	(調整中) 本願寺と善福寺の関係について (調整中)	永村眞 永村眞 永村眞
	第2節 浄土宗 の展開と増上寺	第1項 法然とその門葉 第2項 東国の浄土宗 第3項 聖聡とその門流	法然と彼の弟子について 東国における浄土宗について 聖聡と彼の弟子による浄土宗の展開について	永村眞 永村眞 永村眞
第3節 中世の 板碑について	第1項 中世の板碑	(調整中)	伊藤宏之	
参考文献 図版一覧 執筆者 協力者 関係者 通巻一覧 奥付				— — — — — —

「港区史」通史編 目次案・構成案

目次案 【通史編 近世（上）】

部分監修者：岩淵令治

目次 ※項は変更あり		内容	執筆者
平和都市宣言 口絵 刊行のごあいさつ 刊行にあたって 凡例 目次			— — 区長 編さん委員長 — —
近世編上 序			
章扉			
序章 近世の 港区域	第1節 近世のはじまりと江戸の成立	第1項 第2項 第3項	第1章への導入などについて 岩淵令治
	第2節 身分別居住による分節的構造	第1項 武家地（概要説明） 第2項 寺社地（概要説明） 第3項 町人地（概要説明）	第2章の武家地の概要について 第3章の寺社地の概要について 岩淵令治
	第3節 中心部からの展開	第1項 第2項 第3項	岩淵令治
	第4節 港区の地域ごとの特色	第1項 第2項 第3項	第1章の旧区ごとの特色などについて 岩淵令治
	第5節 港区の幕末	第1項 第2項 第3項	第6章の幕末期における港区の特色などについて 岩淵令治
	第6節 近世遺跡の概要	第1項 近世遺跡調査・研究の歩み 第2項 近世遺跡の概況 第3項 「江戸遺跡」と「近世遺跡」	江戸の範囲と区内発掘調査の歴史などについて 区内で発掘された近世遺跡の概況について 遺跡と都市の範囲の考え方について 高山優
章扉			
第1章 都市開発と災害	第1節 初期の都市開発	第1項 江戸図から見る港区域の開発 第2項 武家地 第3項 寺社地 第4項 町人地	芝区・麻布区・赤坂区の範囲、都市の拡大などについて 岩本 馨 大名の屋敷拝領過程などについて 寺院の起立・転入・転出、寺町の成立などについて 東海道沿いの町、百姓町屋の成立などについて
	第2節 考古学でみる江戸のまちづくり	第1項 低地と海浜部の造成 第2項 高台の造成 第3項 上下水道の整備とまちづくり コラム 港区全般の江戸時代の災害について コラム 遺跡に残る災害の痕跡 コラム 宝永の富士山噴火と火山灰について	調査結果による造成の歴史などについて 調査結果による高台造成の特徴などについて 敷設状況や構造などについて 近世の災害の概観などについて 火災や地震の災害痕跡などについて 火山灰の検出状況と分析結果について 斉藤進 高山優 斉藤進 岩淵令治 合田恵美子 鈴木毅彦・高山優
章扉			
第2章 武家地	第1節 大名屋敷	第1項 大名屋敷の性格と構造 第2項 紀州藩徳川家赤坂中屋敷 第3項 萩藩毛利家麻布龍土下屋敷 第4項 八戸藩南部家上屋敷・中屋敷・下屋敷 第5項 久留米藩有馬家芝上屋敷 第6項 浜松藩水野家三田下（中）屋敷 第7項 熊本藩細川家白金下屋敷 第8項 高松藩松平家目黒下屋敷 第9項 大名屋敷の終焉 コラム 愛宕山から見た武家屋敷の景観	大名屋敷の概説と分布などについて 紀州藩徳川家赤坂中屋敷などについて 磐城平藩内藤家六本木下屋敷などについて 外様小藩の拝領屋敷の変遷と内部構造などについて 久留米藩有馬家三田上屋敷などについて 抱屋敷・町並屋敷などについて 長州藩邸没収・薩摩藩邸焼討などについて 宮崎勝美 宮崎勝美 宮崎勝美 岩淵令治 宮崎勝美 宮崎勝美 宮崎勝美 宮崎勝美 宮崎勝美 宮崎勝美 宮崎勝美
	第2節 旗本・御家人屋敷	第1項 旗本・御家人とは 第2項 旗本・御家人屋敷の分布状況 第3項 旗本・御家人屋敷の種別と実態 第4項 旗本・御家人屋敷の内部構造と利用	旗本・御家人の定義などについて 区内の旗本居住状況、大縄地などについて 居屋敷・拝領屋敷などについて 屋敷絵図・施設・居住者などについて 渋谷葉子
	第3節 愛宕下の旗本・御家人屋敷（武家地について）	第1項 愛宕下地域の区分と地理 第2項 芝口地区の旗本・御家人屋敷地 第3項 愛宕下地区の旗本・御家人屋敷地 第4項 西久保地区の旗本・御家人屋敷地 第5項 愛宕下地域の旗本屋敷地の実態	愛宕下地域の範囲などについて 地区の特徴と本堂家などについて 概要と変遷・特徴などについて 概要と変遷・特徴などについて 各地区の変遷の特色、居住実態と景観などについて 渋谷葉子

目次 ※項は変更あり		内容	執筆者	
第4節 赤坂の武家屋敷について (武家地について)	第1項 大名藩邸	紀州藩・浅野家・黒田家・真田家・吉川家などについて 森山家・勝家などについて 組屋敷・拝領屋敷などについて	滝口正哉	
	第2項 旗本屋敷			
第3項 御家人屋敷				
第5節 発掘された武家屋敷跡	第1項 発掘された大名屋敷跡	異なる大名屋敷遺跡の比較などについて	高山優	
	第2項 発掘された旗本屋敷跡	花房家屋敷跡の調査成果などについて	合田恵美子	
章扉				
第3章 寺社地	第1節 近世の宗教	第1項 宗教文化の成立 第2項 幕府の宗教政策	人々を取り巻く宗教的環境などについて 宗教勢力の編入や法度制定などについて	上野大輔
	第2節 寺院の組織と制度	第1項 寺院の概況	港区寺院の特徴などについて 本末制度の概要、善福寺の事例などについて 旦那寺と檀家の関係の事例などについて 触頭寺院による配下の統制などについて 教義・儀礼の研究、宗教者の論争などについて 朝廷や公家社会とのつながりなどについて 盛岡藩・八戸藩と金地院などについて	上野大輔
		第2項 本末制度		上野大輔
		第3項 寺檀制度		上野大輔
		第4項 触頭制度		上野大輔
		第5項 教学機関と教義・信仰		上野大輔
		第6項 寺院・僧侶の格式		上野大輔
第7項 大名と大名家臣の菩提寺		岩淵令治		
第8項 大名家の葬地(仮)		岩淵令治		
第3節 大寺院の空間構造と社会(増上寺)	第1項 創建から南の霊廟成立まで	内地の空間構成の展開過程と徳川將軍家について 増上寺と江戸城の関係について 増上寺の寺院建築とについて 増上寺の門前地の構成について 増上寺を取り巻く諸環境について 近代以降の増上寺周辺を取り巻く環境の変化について	伊坂道子	
	第2項 江戸後期---北廟の成立と増上寺景観の成熟		伊坂道子	
	第3項 境内地理と関係附属地		伊坂道子	
	第4項 山内寺院が伝える江戸の記憶		伊坂道子	
	第5項 関係領域		伊坂道子	
	コラム 明治、大正、昭和、平成、芝と上野の今		伊坂道子	
第4節 神社の社会的展開	第1項 港区の神社	社の概説、町人信仰などについて 両社の概説、祭礼などについて 社の概説、市などについて 大乘院・鳳閣寺などについて 町方書上掲載の稲荷などについて	滝口正哉	
	第2項 赤坂氷川神社・麻布氷川明神			
	第3項 芝神明と愛宕権現			
	第4項 修験			
	第5項 稲荷			
第5節 港区の近世寺社建築	第1項 時代的な変遷について	現存する近世寺社建築の一覧などについて 明王院・金刀比羅宮などについて 実相寺・東禅寺などについて 赤坂氷川神社・明称寺などについて	中村琢巳	
	第2項 武家の庇護を受けた実相寺			
	第3項 東禅寺僊源亭にみる大名菩提寺の接客空間			
	第4項 庶民信仰を伝える明王院本堂の天井画			
	第5項 金刀比羅宮の銅鳥居にみる武家と町人			
第6節 発掘された寺院跡	第1項 考古学でみる寺院境内	上行寺跡・門前跡の調査結果などについて 考古学的調査による徳川家霊廟の特徴などについて 墓所の特徴や近世墓からみえる側面などについて 顔の形質・複顔などについて	高山優	
	第2項 増上寺徳川將軍家墓所の世界		高山優	
	第3項 名のある人びとの墓・名もなき人びとの墓		高山優	
	コラム 港区の近世人骨研究		奈良貴史	
参考文献			—	
図版一覧			—	
執筆者			—	
協力者			—	
関係者			—	
通巻一覧			—	
奥付			—	

「港区史」通史編 目次案・構成案

目次案 【通史編 近世（下）】

部分監修者：岩淵令治

	目次 ※項は変更あり	内容	執筆者		
	平和都市宣言		—		
	口絵		—		
	刊行のごあいさつ		区長		
	刊行にあたって		編さん委員長		
	凡例		—		
	目次		—		
近世編 下 序					
章扉					
第4章 町人地	第1節 町の営み	第1項 港区域の町人地	渋谷長谷寺門前・芝田町の名主などについて	高山慶子	
		第2項 町運営の実態—青山御手大工町の「町記」を読み解く—	芝松本町の町入用などについて	高山慶子	
		第3項 町の財政—芝松本町の町入用—	青山御手大工町の運営などについて	高山慶子	
		第4項 名主の諸相		高山慶子	
		コラム 名主のみた幕末維新	(調整中)	高山慶子	
		第2節 町屋敷を持つ	第1項 町屋敷と地主	南方町屋敷帳分析などについて	高山慶子
		第2項 沽券図を読む	二葉町・兼房町などの沽券図の分析などについて	岩淵令治	
		第3項 武家の地主	(調整中)	高山慶子	
		第4項 赤坂での町屋敷経営	(調整中)	岩淵令治	
		第3節 庶民の世界	第1項 町の住民	善福寺門前町の町法などについて	高山慶子
		第2項 門前町屋の暮らし① 善福寺門前		岩淵令治	
		第3項 門前町屋の暮らし② 大養寺門前	西久保大養寺門前の暮らしなどについて	岩淵令治	
	第4項 人別帳を読み解く	渋谷長国寺門前の人別帳などについて	高山慶子		
	コラム 撮影された門前町の街並み	(調整中)	高山慶子		
	第4節 商工業のにぎわい	第1項 商工名鑑・地誌からみる港区の生業	奉公人・経営などについて	高山慶子	
	第2項 豪商三井家の越後屋芝口店		滝口正哉		
	第3項 海辺の生業	漁業・魚市場などについて	高山慶子		
	第4項 引札・商標からみる庶民の小営業	(調整中)	高山慶子		
	第5項 武家地のなかの町場	(調整中)	岩淵令治		
	コラム 熊本藩細川家の出入職人	(調整中)	高山慶子		
	第5節 村と在方分	第1項 港区に存在した村—景観の移り変わり—	(調整中)	工藤航平	
	第2項 村の生活と負担		工藤航平		
	第3項 経済活動に基づく周辺地域との関係		工藤航平		
	第6節 発掘された町屋跡	第1項 考古学でみるくらしの諸相	空間構成や暮らしの様子などについて	高山優	
	第2項 考古学でみる町人の仕事	雑魚場跡・鑄造関係遺跡などについて	高山優		

目次 ※項は変更あり		内容	執筆者	
章扉				
第5章 文化	第1節 浮世絵を産む「場」としての芝界限	序論 はじめに	既刊の港区史が描く江戸末期の人物像などについて	大久保純一
		第1項 芝神明境内と山崎女龍	盛り場における制作・即売などについて	大久保純一
		第2項 歌川派の「聖地」、芝神明前	芝神明界限の絵師などについて	大久保純一
		第3項 絵草紙屋の町、芝神明前		大久保純一
		第4項 芝神明の版元と錦絵の主題		大久保純一
	第5項 和泉屋市兵衛の活動	版元の傾向、地本問屋・絵双紙屋街の形成などについて	大久保純一	
	第2節 年中行事	第1項 武家	武家における年中行事について	滝口正哉
		第2項 町人	町人の年中行事について	滝口正哉
第3項 寺社		寺社における年中行事について	滝口正哉	
第3節 信仰と行楽	第1項 寺社参詣	参詣客を集めた寺社について	滝口正哉	
	第2項 願掛けと講	信仰と参拝講について	滝口正哉	
	第3項 花見と行楽	江戸の名所と行楽について	滝口正哉	
第4節 祭礼	第1項 赤坂氷川祭	祭の概要などについて	滝口正哉	
	第2項 麻布氷川祭	武江年表・松窓雑録記載事項などについて	滝口正哉	
	第3項 芝神明だらだら祭	祭の概要などについて	滝口正哉	
第5節 寺社の興行	第1項 寺社経営と勸化	寺社における勸化・勧進について	滝口正哉	
	第2項 開帳	芝神明・愛宕社・青山善光寺などについて	滝口正哉	
	第3項 富くじ	芝神明・愛宕社・赤坂氷川神社などについて	滝口正哉	
第6節 盛り場の賑わい	第1項 盛り場の変化・発展	芝神明周辺の盛り場について	滝口正哉	
	第2項 宮地芝居・寄席・岡場所・歌舞音曲・芸能・見世物	(調整中)	滝口正哉	
第7節 奉納物	第1項 絵馬	赤坂氷川神社の大絵馬などについて	滝口正哉	
	第2項 灯籠・天水桶・手水鉢ほか	現存するもの、増上寺から流出したものなどについて	滝口正哉	
第8節 港区域の教育	第1項 (港区域の教育社会) コラム 滞在者がみた江戸	(調整中) 短期・中期滞在者の行動などについて	工藤航平 五十嵐和也	
章扉				
第6章 幕末期	第1節 幕末の江戸湾防備と内海御台場	第1項 御台場と海防	台場と対外危機の概説などについて	富川武史
		第2項 ペリー来航、江戸と近郊地域の臨時警備体制	鳥取藩の江戸湾防備などについて	富川武史
		第3項 内海御台場御普請御用掛の体制	台場普請事業への動員と寺社への分宿などについて	富川武史
		第4項 構築資材の調達と地域社会への負担 コラム 発掘された第一・第五台場	木材・石材・土砂の調達などについて 港区教育委員会による発掘などについて	富川武史 富川武史
		第5項 内海御台場の警備体制と藩邸の利用変化 コラム 萩藩の江戸湾防備と麻布藩邸	警備を担当した藩などについて 江戸に滞在した陪臣たちなどについて	富川武史 重田麻紀
	第2節 幕末の外国公館	第1項 修好通商条約の締結	ハリスとの交渉・条約締結などについて	吉崎雅規
		第2項 外国公館の開設と地域	善福寺・東禅寺・済海寺などについて	吉崎雅規
		第3項 外国人襲撃事件と警備 第4項 外国公館と開かれる江戸	伝吉暗殺事件・ヒュースケン暗殺事件などについて 大名や別手組による警備体制などについて	吉崎雅規 吉崎雅規
参考文献 図版一覧 執筆者 協力者 関係者 通巻一覧 奥付			— — — — — —	
付図				

「港区史」通史編 目次案・構成案

目次案 【自然編】

部分監修者：高山優

目次 ※項は変更あり		内容	執筆者	
平和都市宣言			—	
口絵			—	
刊行のごあいさつ			区長	
刊行にあたって			編さん委員長	
凡例			—	
目次			—	
序 港区の自然			高山優	
章扉				
第1章 港区の地形と地質	第1節 港区の地形の概要-東京湾に面した武蔵野台地東端の地形-	第1項 港区の地形を歩く	港区域の一部を成す武蔵野台地の地形について	久保純子
		第2項 台地と谷	武蔵野台地に形成された谷について	久保純子
		第3項 東京湾岸の低地	港区域の低地部および海浜部を形成する沖積低地について	久保純子
	第2節 地下構造と地質	第1項 3つのプレート、北米、フィリピン海、太平洋プレートの上に位置する港区	港区域の地下に存在するプレートについて	鈴木毅彦
		第2項 関東平野の地下に広がる上総・下総層群 - 関東平野の期限とその変遷を解く鍵	関東平野の基盤を成す堆積層群について	鈴木毅彦
		第3項 台地をつくる堆積物と関東ローム層	台地を構成する物質・土壌について	鈴木毅彦
		第4項 低地に分布する沖積層	低地部地下に存在する沖積層について	鈴木毅彦
	第3節 地形の変遷	第1項 日本列島と関東平野の成立	関東平野の成立過程について	鈴木毅彦
		第2項 プレート運動と上総トラフの陸化	関東地方における地殻変動について	鈴木毅彦
		第3項 氷河性海面変動と地形・地質	氷河の盛衰による海面変動について	久保純子
		第4項 縄文海進と沖積低地	縄文時代前期における海面上昇とその後の沖積低地形成について	久保純子
		第5項 歴史時代の地形変化	有史時代における地形の変化について	久保純子
		コラム 埋め立てによる海岸線の変化 (人工地形)	港区域における埋め立てとそれに伴う海岸線の変化について	久保純子
		コラム 港区と坂	港区に多数ある坂と地形の特徴について	久保純子

目次 ※項は変更あり		内容		執筆者	
章扉					
第2章 港区の気候と気象	第1節 世界や日本における港区の気候・気象	第1項	はじめに	世界の気候のなかでの港区の位置づけについて 港区域の四季それぞれの気候について	高橋日出男
		第2項	気候概要 世界の気候の多様性		高橋日出男
		第3項	気候・気象の季節性		高橋日出男
	第2節 気候・気象の特徴	第1項	降水量や気温の季節変化の概要	港区域の降水量や季節変化の概要について	高橋日出男
		第2項	降水	港区域の降水量について	高橋日出男
		第3項	気温	港区域の気温について	高橋日出男
		第4項	相対湿度	港区域の相対湿度について	高橋日出男
		第5項	風	港区域の風について	高橋日出男
		第6項	日照時間と日射量	港区域の日照時間と日射量について	高橋日出男
		第7項	大気汚染	港区域の大気汚染について	高橋日出男
	第3節 気候の変化と変動	第1項	地質時代から歴史時代の気候	港区域における先史時代からの気候の変化について	高橋日出男
		第2項	観測時代の気候変化	近現代の気候の変化について	高橋日出男
	第4節 港区における気象資料と気象災害情報	第1項	気象観測の歴史と観測資料の	気象観測史と観測関係資料について	高橋日出男
第2項		気象災害に関する情報	(調整中)	高橋日出男	
コラム		都市気候	港区域の特徴である都市気候について	高橋日出男	
コラム		地球温暖化	港区域における地球温暖化の影響について	高橋日出男	
コラム		海陸風(山谷風)	海浜地域の特徴である海陸風について	高橋日出男	
		コラム	大気現象の時間・空間スケール	(調整中)	高橋日出男
章扉					
第3章 港区の生物	第1節 港区の生物の変遷と特徴	第1項	生物の歴史的移り変わり	有楽町海進以前の関東平野や植生・動物の歴史的移り変わりについて	河野博
		第2項	生物学的特徴	潜在的な生物相や都市型自然環境について	河野博
		第3項	みどりの分布と巨樹、古木、天然記念物	緑被地の面積が区の面積に占める割合、みどりの豊かさ等について	河野博
	第2節 港区に生育・生息する生物	第1項	陸上の植物	陸上植物の概要、コケ類やキノコ類等について	河野博
		第2項	陸上動物	土壌植物や昆虫類・クモ類・両生類・爬虫類・哺乳類等について	河野博
		第3項	水辺の生物	水生植物や陸水域・海域の低生生物、魚類について	河野博
コラム	ビオトープとエコロジカルネットワーク	生物の生息空間と港区の生態系ネットワークについて	河野博		
章扉					
第4章 自然の歴史と人びと	第1項		都市に住む人びとと自然とかかわりの歴史や今後について	高山優	
	第2項				
	第3項				
参考文献				—	
図版一覧				—	
協力者				—	
執筆者				—	
関係者				—	
通巻一覧				—	
奥付				—	

「図説 港区の歴史」構成表

部分監修者：高山優

基本構成				執筆者
刊本構成	時代別	構成		
通 卷 1 2	第1章 自然	章扉		—
		総説		河野博
		第1節	武蔵野台地と東京低地	高山優
		第2節	まちの中の自然	河野博
		第3節	海辺の自然	河野博
		コラム	海浜部を歩く	河野博
		—	引用・参考文献	—
	第2章 原始	章扉		—
		総説		高山優
		第1節	縄文時代1 海辺のすまい・里地のすまい	高山優
		第2節	縄文時代2 貝塚	山根洋子
		第3節	弥生時代 発掘されたむらと墓	高山優
		コラム	〈調べる〉港区立郷土歴史館「貝塚の世界」	山根洋子
		—	引用・参考文献	—
	第3章 古代	章扉		—
		総説		高山優
		第1節	古墳時代1 海を差配した地方豪族の墳墓	高山優
		第2節	古墳時代2 発掘されたむら	高山優
		第3節	奈良・平安時代『更級日記』の世界	高山優
		コラム	〈調べる〉古代の伝承地を訪ねる	高山優
		—	引用・参考文献	—
	第4章 中世	章扉		—
		総説		今野慶信
		第1節	(平安・鎌倉時代) 荘園と公領—新たな土地制度—	今野慶信
		第2節	(南北朝・室町時代) 秩父平氏流江戸氏の広がり	今野慶信
		第3節	戦国時代 戦乱のなかの港区域	今野慶信
		第4節	中世仏教史と港区域	今野慶信
		コラム	〈調べる〉	今野慶信
—		引用・参考文献	—	

基本構成			執筆者	
刊本構成	時代別	構成		
	第5章 近世	章扉	—	
		総説	西木浩一	
		第1節	まちづくり① 低地と海浜部の造成	高山優
		第2節	まちづくり② 玉川上水 インフラ整備と維持管理	西木浩一
		第3節	まちづくり③ 土地に刻まれた災害史	高山優
		第4節	武家① 江戸の大名屋敷	西木浩一
		第5節	武家② 勤番武士の江戸暮らし	西木浩一
		第6節	武家③ 発掘された大名屋敷跡	高山優
		第7節	武家④ 旗本の暮らし	西木浩一
		第8節	寺社① 増上寺と将軍家霊廟	西木浩一
		第9節	寺社② 墓	西木浩一
		第10節	寺社③ 神社と祭礼 赤坂氷川明神を中心に	西木浩一
		第11節	寺社④ 発掘された寺院跡	高山優
		第12節	町人・町人地① 町と町人	西木浩一
		第13節	町人・町人地② 町のすがたを探る	西木浩一
		第14節	町人・町人地③ 町の生業①—本芝浦・金杉浦の漁業	西木浩一
		第15節	町人・町人地④ 高輪車町 —陸上輸送のプロ集団が住まう町	西木浩一
		第16節	町人・町人地④ 町の生業②—鋳物師	高山優
		第17節	幕末① 内海御台場	富川武史
		第18節	幕末② 江戸の外国公使館	吉崎雅規
		コラム	〈調べる〉	西木浩一
—	引用・参考文献	—		

基本構成				執筆者
刊本構成	時代別	構成		
通 卷 1 2	第6章 近代	章扉		—
		総説		龍澤潤
		第1節	東京遷都	龍澤潤
		第2節	激変する土地利用	高山優
		第3節	近代初等教育のはじまり	龍澤潤
		第4節	勝海舟と福澤諭吉	龍澤潤
		第5節	新橋停車場	龍澤潤
		第6節	芝・麻布・赤坂区の誕生	龍澤潤
		第7節	富国強兵と近代工場	龍澤潤
		第8節	日清戦争と日露戦争 兵も社会も動員された	白石弘之
		第9節	軍都 区内にはかつてたくさんの軍事施設があった	白石弘之
		第10節	関東大震災 地震・炊き出し・自警団・共同バラック・埋立地	白石弘之
		第11節	震災復興とまちの変化	龍澤潤
		第12節	二・二六事件と防護団 我等が帝都は我等が護れ	白石弘之
		第13節	東京空襲 焼夷弾の雨にバケツと火叩きで対抗する	白石弘之
		コラム	〈調べる〉	龍澤潤
		—	引用・参考文献	—
	第7章 現代	章扉		—
		総説		龍澤潤
		第1節	東京でも一、二を争うほど早く生まれた新橋の闇市	初田香成
		第2節	港区の誕生	龍澤潤
		第3節	住民による自主的なまちづくり 六本木の戦災復興区画整理事業	初田香成
		第4節	東京タワーとビル・ブーム 1950年代の戦後復興	初田香成
		第5節	東京オリンピックと街並みの変化	初田香成
		第6節	漁業補償と内湾漁業の変化	高山優
		第7節	芝浦から発信される「都市のイメージ」	渡邊大志
		第8節	国民人口減少時代の国際生活都市	渡邊大志
		第9節	港区立郷土歴史館と文化財	高山優
		コラム	〈調べる〉	龍澤潤
	—	引用・参考文献	—	
		年表		
		刊行のことば		
	目次			
	総頁			